

一般質問通告一覧表

1	仲江 孝丸
2	角 寛
3	清水 健太郎
4	五十川 清紀
5	芝山 定史
6	水口 崇
7	沼谷 美次
8	吉村 聡一郎
9	橋爪 和雄
10	長脊 守

令和5年 第3回串本町議会定例会

通告順 1
 通告者 仲江 孝丸

質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨	質問の相手
1 健康保険証の存続を (1) 保険証廃止に伴う混乱予測 (2) 名古屋市の取組みに学ぶ	町 長
2 地域から平和を (1) 軍事予算の突出と地方財政への影響 (2) 自衛隊の現状 (3) 個人情報保護	
3 サンゴの保全 (1) 串本のサンゴの価値 (2) 漂着サンゴ片の保全 (3) 条例での規制はできないか	
4 外国人観光客の増加と対応 (1) 現状と今後の見通し (2) 行政機関の対応 (3) 多言語看板の設置や翻訳機の活用	
5 福島原発の放射能汚染水の放出 (1) 処理水という名によるごまかし (2) わが町における水爆マグロの教訓	

通告順 2
 通告者 角 寛

質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨	質問の相手
1 Y市が、財政健全化計画策定が義務付けされたことによる要因(背景)と弊害は (1) 少子高齢化、社会経済情勢が大きく変化しているなかで、自治体独自の町民自治に基づいた持続可能なまちづくりを推進していくためには、<町民、議会、町>が財政運営の規律を共通し、認識し、弾力的持続可能な財政基盤を維持し、計画的に施策を実施することが必要と考えその参考資料とする。	町 長
2 県の<財政危機警報>が発出されたことによる当町の予算編成などの影響は (1) 令和5年2月に県は、財政の現状と課題について<見直し元年>と位置づけ、10年間の財政収支見通しを試算して、財政調整基金などが令和7年に枯渇し、予算編成が困難となると発表したことによる。	

<p>3 財政力指数・経常収支率・実質単年度収支率・基金・地方債残高・公債費などの財政指標の動向は</p> <p>(1) <町の財政の現状と課題>分析し、今後の予算編成などに活用する。</p> <p>財政力指数と経常収支率の相関関係など。</p>	町 長
<p>4 当町の健全化判断比率<実質公債費率・将来負担比率>の見通しと県内・類似団体との立ち位置は</p> <p>(1) 各自治体が、財政の健全性を判断する一手段として総務省（国）へ報告が義務付けされていることに関連して町債残高と将来負担比率、公債費の動向と推移。</p>	
<p>5 統一的な基準による財務書類の分析と活用状況は</p> <p>(1) 財務4表の活用状況。（発生主義の視点から財政を分析することが、国からも求められている。）</p>	
<p>6 中長期財政見通し作成状況(改定)と活用状況は</p> <p>(1) 当該収支予想に基づき、将来に負担を先送りしない持続可能な財政構造への転換を図るためにはストック情報、コスト情報など町財政の現状を分かりやすく住民、議会等に説明・公表する必要がある。</p>	

通告順 3
 通告者 清水 健太郎

質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨	質問の相手
<p>1 高台造成事業について</p> <p>(1) 町長は議会に、「町内外から高台に土地が欲しいという要望が多い。なので、高台造成事業を考えている。しかし、その前にしっかりアンケートを取ってから、事業に取り掛かる」と説明していた。もう事業が進んでいるようだが、議会には何の説明もない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内外からの要望の詳細はどのようなものだったのか。 ・ 現在、旧分庁舎のサテライトオフィスの入居状況は。 ・ アンケートは取ったのか。 ・ その結果は。 ・ 概算費用はいくらか。 ・ 公費を使つての高台造成は本当に必要なのか。 	町 長

2 南海トラフ巨大地震、津波に対する防災対策への町の取り組み方について

- ・ 高台に一時避難場所を作るより、高台まで逃げられる手段を作る方が優先である。町の対策は十分か。
- ・ 補助金をもとにした防災対策ではなく、住民の命を守るために何が必要かを考える必要がある。
- ・ こども園の通園バスの危険性を訴えたら、町当局は「それはこども園が考えること」と答弁した。このような姿勢で町民の命を救えるのか。

3 顧問弁護士について

(1) 町の答弁で「顧問弁護士に相談している」という言葉が頻繁に使われている。弁護士は裁判のプロであっても、行政のプロではない。つまり顧問弁護士の言うことが行政の観点から正しいとは限らない。以下に例を挙げて検証する。

○ 議員に漏洩した2件目の個人情報（衛生施設事務組合のもの）について

- ・ 前回議会で「係争中だから答弁を控える」との答弁があった。顧問弁護士からのアドバイスだということだが、弁護士はどういう意味で言っているのか。
- ・ 事実を議場で述べることで裁判にどんな影響があるのか。

○ 町の公式見解について

町のホームページの「公式見解の公表について」というページには、顧問弁護士が「町の公式見解とは異なり町民に混乱を生じさせる可能性がある場合、投稿者にその旨を説明して削除を求める（中略）必要がある」と回答したと記載されている。

- ・ 言論の自由の観点から大問題である。顧問弁護士はどういう意図をもって書いたのか。

○ 議会映像の著作権について

私がYouTubeに議会映像をアップしていることに関し、顧問弁護士は著作権法違反だからYouTubeに削除するよう要請すべきとしたが、YouTubeはフェアユースであり著作権法違反には当たらないとして削除を拒否した事実について

4 くしもと町立病院でのトラブルについて

(1) 患者親族との問題で病院に何回も警察を呼んだと聞いている。

- ・ 過去1年間において、くしもと町立病院での患者トラブルで警察を呼んだ回数は。
- ・ 町長はこのトラブルをどうやって解決するつもりか。
- ・ 病院は議員が話を聞かせてくれと言っても取り合わない。このような態度は町立病院として問題ではないのか。

町 長

通告順 4
 通告者 五十川 清紀

質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨	質問の相手
<p>1 串本町の産業振興と防災対策の今後について</p> <p>念願の高速道路は2025年春串本町まで開通予定。つながれば町全体の活性化が図れる大きなプロジェクトである。</p> <p>(1) IC周辺地域活性化施設建設の進捗状況と今後の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IC周辺地域活性化施設建設について、プロポーザル審査結果、事業者決定に至らなかった。問題は何か。 ・ 現在コンサル等含め調査中と聞くがどのような見通しか。 ・ また進出企業誘致等について課長等自らのトップセールスや課の枠を超えオール串本町で検討する必要があると考えるがこの辺はどうか。 <p>(2) 高速道路が開通することに伴う防災対策の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災対策上において命の道とも称される高速道路、被災時に救助隊や救援物資が届きやすくなる。被災者等の避難（町外、県外）移動、備蓄計画、避難計画等の見直しが必要でないのか。 <p>(3) 台風7号による停電被害等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風7号で停電、断水の被害、田並、和深エリア、串本町の責任ではないが、関西電力等と町との交渉等、町長が広報くしもとのコラムでコメントしている。 <p>今後、予期せぬ災害について、町としてなにがしかの情報提供をしていただき、町民を安心させる手立て（情報の共有体制）をお願いしたい。</p>	町 長
<p>2 統合小学校の建設について</p> <p>新しい時代の学校づくり基本計画策定で気づいたこととは</p> <p>(1) 今回、国の指定を受け、先導的開発事業の取組みをしたことでいろんな意見があったと思う。新しいことを始めるとそれに抵抗する力が生まれる。協議会、分科会でどのような意見が出され議論されたのか。</p> <p>(2) これから実施計画、建設工事に向け、大変な業務と思う。教育次長から「教員も育つ学校、活動しやすい学校」という話を聞いている。長年教員として現場を経験してきた坂本教育長は、この点どのような考え方かお聞きしたい。</p>	教育長

通告順 5
 通告者 芝山 定史

質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨	質問の相手
1 ライフラインの充実（災害から学ぶ） <ul style="list-style-type: none"> (1) 水道管の現状と今後の方針を問う 低地（旧串本町内、橋杭、姫）周辺の状況、末端地区（高台）を充実させても問題が残るのでは。 (2) 停電への対応策を問う <ul style="list-style-type: none"> ① 関西電力との連絡体制は。密な連絡体制を望む。 ② 知り得た情報をいち早く町民に伝える方法 ③ 電線に枝が被っている部分を普段から把握し、普段から作業をしておく（交通事故対策、停電対策） (3) 越波による迂回路への対応策を問う <ul style="list-style-type: none"> ① 通行止め連絡をなるべく早く告知する ② 迂回路の安全と新迂回路の開発を検討しておく (4) 災害（災害対策）の情報発信 町民の不安を取り除くために、状況変化に対応する遂次の正しい情報発信体制づくり 	町 長

通告順 6
 通告者 水口 崇

質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨	質問の相手
1 行政の政策と街づくり <ul style="list-style-type: none"> (1) 県内二番目の人口減率と政策の見直しについて (2) 職員のリサーチ能力とコスト・ベネフィット意識の向上（自己研修補助・ボランティア休暇の推奨） (3) 高速道路（仮称）串本西インターのフルインター化は供用後必ずできるのか（すさみ町・古座川町の要望は供用前に実現したが） ・串本SA 	町 長
2 教育立町 <ul style="list-style-type: none"> (1) 串本町の、ハズレガチャからの脱却 (2) 教育環境の格差の是正（県立、私立中学校・給食の無償化・就学支援他） (3) 学力向上（ネット塾・教育講座等のサポート） (4) 生きる力をつける（不登校・引きこもり） (5) 数値目標を設定した教育振興基本計画策定 (6) 小・中・高生に生きた利他教育 	教育長

<p>3 危機管理対策 現場から学ぶ防災</p> <p>(1) 危機管理意識・知識の向上</p> <p>(2) 防犯カメラの必要性の認識</p> <p>(3) 災害時の通信対策（避難所へのwi-fi・スマホ充電・緊急通報他）</p> <p>(4) 停電・断水・豪雨・地震等の災害時の初動規程</p> <p>(5) 地区住民の人員の掌握は出来ているのか</p> <p>(6) 情報提供と正しい危機管理</p> <p>(7) 事前復興計画の策定を急ぐべきである</p>	町 長
<p>4 税収の確保</p> <p>(1) たばこ税（令和4年1億2千万円）確保対策</p>	

通告順 7

通告者 沼谷 美次

質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨	質問の相手
<p>1 学校教育</p> <p>(1) 開かれた学校と安心安全の取組みについて</p> <p>(2) 夏休み明けの自殺予防や不登校の予防に対する取組みについて</p> <p>(3) 新採用の教員のスキルアップについて</p>	教育長
<p>2 学童保育</p> <p>(1) 現在の学童保育の現状について</p> <p>(2) 統合小学校における学童保育の取組みについて</p> <p>(3) 指導員の資格と仕事の内容は</p>	町 長
<p>3 災害時の備えについて</p> <p>(1) 災害時の廃棄物仮置場は、現在何ヶ所想定しているのか</p> <p>(2) 災害が起こった際に出た廃棄物の取扱いについて、町の取組みは</p>	

通告順 8

通告者 吉村 聡一郎

質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨	質問の相手
<p>1 コミュニティバスについて</p> <p>(1) 現在の運用方法</p> <p>(2) 路線別の乗降実績(人数、売上)</p> <p>(3) 現状の課題</p> <p>(4) 運転免許返納数、返納率（串本町）</p> <p>(5) 高齢者増加に伴う将来的な展望と理想像</p>	町 長
<p>2 自主防災組織との連携について</p> <p>(1) 災害時だけでなく、台風・停電などの時の町との連携状況について</p>	

通告順 9
 通告者 橋爪 和雄

質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨	質問の相手
1 台風7号災害で、新たな問題について (1) 長期停電対策について (2) 避難施設の設備について (3) 水道施設の強化について (4) 通信施設の強化（町内放送）について (5) 緊急被害対応について	町 長
2 一日でも早い火葬場建設について (1) 火葬場の現状について (2) 二つの火葬場の今後の使用について (3) 新火葬場の今後の日程について (4) 新火葬場の規模について	
3 旧西向保育所の今後の利用について (1) 現在の状況について (2) 取壊して新たに有効利用できないか (3) 旧古座庁舎、宇宙ふれあいホール「Sora-Miru」の第2駐車場としての活用について (4) ミニ遊園地（ロケット関連のモニュメント等）の活用について	

通告順 10
 通告者 長脊 守

質 問 事 項 及 び 質 問 要 旨	質問の相手
1 災害に強い町づくりについて (1) 災害時のライフライン対応について (2) 国道42号線の越波対策について (3) 災害時の廃棄物処理計画について	町 長